

令和2年9月8日

学生の皆さんへ

理事（教学担当）

「後期授業開始に向けて」

新型コロナウイルス感染症により、皆さんの日々の生活は一変しているものと思います。様々な取り組みや対策を徹底しても、学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることは不可能です。また現状では、当分の間新型コロナウイルス感染が完全に終息することは想定し難く、これからは、いかにこの新型コロナウイルスと共生していくかが求められています。感染症に対する不安や恐怖心だけで立ち止まっていたのでは、なんの前進も発展も見込めません。

本学においては、前期及び第2クォーターまでは「①講義科目及び演習科目は、オンライン授業を原則とし条件を満たせば対面授業を実施。②実験、実習及び卒業研究（ゼミ演習含む）は、条件を満たせば対面授業での実施を原則とし、条件を満たすことができない場合はオンライン授業で実施。」としてきました。この実施方針に対しては、学生の皆さんの中にも賛否両論があり、オンライン授業の実施及び継続を望む者、対面授業への移行を望む者、両極端の意見が寄せられていました。

そこで、今皆さんが一番気にしているであろう、後期及び第3・4クォーターの授業開講については、学部単位だけでなく各授業単位においても、これまでより対面授業を多く取り入れて行うこととします。これは、国や文部科学省からの要請事項でもあり、今後避けては通れない with コロナへの第一歩であると考えています。もちろん感染症対策を講じることが求められますが、そのためには、大学から配信済みである「学生の行動制限の強化について」において通知している内容を遵守することを含め、皆さんのこれまで以上の自覚や協力が不可欠です。

具体の授業科目ごとの開講予定状況は、教養教育科目、専門科目ともに必修科目を中心として徐々に対面授業に移行していくことを計画し現在調整中です。授業開始までには皆さんへ、メールやHP等でお知らせいたします。

ついでには、後期授業又は第3クォーター授業の開始に向けて、オンライン又は対面のどちらの形態にも対応できるよう、各自で準備及び心構えをお願いします。